平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月7日

上場会社名　横浜丸魚株式会社　　上場取引所　大
コード番号　8045　URL　http://www.yokohama-maruuo.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 岩瀬　一雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員　(氏名) 成田　秀昭　TEL 045-459-2921

四半期報告書提出予定日　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	44,908	△5.0	27	―	223	―	183	―
24年3月期第3四半期	47,295	△9.7	△262	―	△74	―	△96	―

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　104百万円　(―%)　24年3月期第3四半期　△126百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	27.76	―
24年3月期第3四半期	△14.65	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	18,914	9,985	51.3
24年3月期	16,319	9,985	59.3

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　9,700百万円　24年3月期　9,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	―	―	10.00	10.00
25年3月期	―	―	―		
25年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	1.7	50	―	200	―	150	―	22.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	7,261,706 株	24年3月期	7,261,706 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	660,239 株	24年3月期	656,611 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	6,603,576 株	24年3月期3Q	6,605,744 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

３．四半期連結財務諸表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（１）四半期連結貸借対照表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
（３）継続企業の前提に関する注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
（５）セグメント情報等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災後の復興関連需要等から国内需要が堅調に推移するもとで、一部の事業に緩やかな回復傾向がみられたものの、長引くデフレや円高基調に加え、欧州債務問題の長期化や中国経済の成長鈍化などの影響もあり、先行きは依然として不透明な状況で推移しました。

当社グループの中核事業である水産物卸売事業におきましても、雇用不安や所得水準の低迷、将来の消費税増税や電気料金の値上げを背景とした消費者の節約・低価格志向は依然として高く、また、近年顕在化している魚離れの問題や、水産物の市場外流通の増加などの影響もあり、厳しい環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、平成23年度から平成25年度まで３ヵ年の中期経営計画「MMプラン２nd Stage」の二年目にあたり、水産物流通システム創造企業として、社会が求める豊かな食生活に貢献し、営業収益の継続的黒字化を実現すべく、グループ一体となって取り組んでまいりました。

その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は44,908百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ2,387百万円（△5.0%）の減収となりましたが、売上総利益率の改善と大幅な経費削減等により、営業利益は27百万円（前年同期　営業損失262百万円）、経常利益は223百万円（前年同期　経常損失74百万円）、四半期純利益は183百万円（前年同期　四半期純損失96百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（水産物卸売事業）

売上高は37,159百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ2,501百万円（△6.3%）の減収となりましたが、営業利益は25百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ127百万円（前年同期　営業損失102百万円）の増益となりました。

（水産物販売事業）

売上高は7,547百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ99百万円(1.3%)の増収となり、営業損失も20百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ158百万円（前年同期　営業損失178百万円）の改善となりました。

（不動産等賃貸事業）

売上高は16百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ６百万円(56.5%)の増収となりましたが、営業利益は12百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ１百万円（△8.1%）の減益となりました。

（運送事業）

売上高は184百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ７百万円(4.5%)の増収となり、営業利益は12百万円と前第３四半期連結累計期間に比べ３百万円（45.8%）の増益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、18,914百万円と前連結会計年度末に比べ2,594百万円増加しました。この主な要因は、現金及び預金の減少268百万円及び受取手形及び売掛金の増加2,954百万円並びに投資有価証券の減少121百万円によるものであります。

負債は、8,928百万円と前連結会計年度末に比べ2,594百万円増加しました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加2,682百万円及び引当金の減少78百万円によるものであります。

純資産は、9,985百万円と前連結会計年度末に比べ０百万円増加しました。この主な要因は、利益剰余金の増加117百万円及びその他有価証券評価差額金の減少84百万円並びに少数株主持分の減少30百万円によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年５月18日に公表いたしました数値から変更はございません。なお、今回発表の１株当たり予想当期純利益の計算は、当第３四半期連結会計期間末の期中平均株式数によっております。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
（減価償却方法の変更）
当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。
これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,945	2,677
受取手形及び売掛金	3,959	6,914
有価証券	80	20
商品及び製品	1,027	1,374
繰延税金資産	19	8
その他	192	135
貸倒引当金	△514	△601
流動資産合計	7,710	10,528
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,085	1,048
土地	771	771
リース資産（純額）	89	61
その他（純額）	78	62
有形固定資産合計	2,025	1,943
無形固定資産		
ソフトウエア	107	79
その他	10	10
無形固定資産合計	117	90
投資その他の資産		
投資有価証券	6,377	6,256
長期貸付金	14	26
破産更生債権等	550	515
その他	50	50
貸倒引当金	△526	△496
投資その他の資産合計	6,466	6,352
固定資産合計	8,609	8,386
資産合計	16,319	18,914

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,338	6,020
未払法人税等	23	15
引当金	170	91
その他	358	386
流動負債合計	3,889	6,513
固定負債		
退職給付引当金	750	758
役員退職慰労引当金	89	110
資産除去債務	29	29
繰延税金負債	1,273	1,226
その他	302	290
固定負債合計	2,444	2,414
負債合計	6,334	8,928
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,541	1,541
資本剰余金	402	402
利益剰余金	5,867	5,984
自己株式	△366	△368
株主資本合計	7,444	7,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,225	2,140
その他の包括利益累計額合計	2,225	2,140
少数株主持分	315	284
純資産合計	9,985	9,985
負債純資産合計	16,319	18,914

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	47,295	44,908
売上原価	44,365	41,979
売上総利益	2,929	2,928
販売費及び一般管理費	3,191	2,901
営業利益又は営業損失（△）	△262	27
営業外収益		
受取利息	9	6
受取配当金	156	150
その他	24	40
営業外収益合計	189	197
営業外費用		
支払利息	1	1
その他	0	0
営業外費用合計	2	2
経常利益又は経常損失（△）	△74	223
特別利益		
固定資産売却益	－	2
負ののれん発生益	0	8
その他	1	－
特別利益合計	2	10
特別損失		
固定資産除却損	0	－
投資有価証券評価損	17	－
その他	7	0
特別損失合計	25	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△97	233
法人税、住民税及び事業税	6	33
法人税等調整額	△9	10
法人税等合計	△2	44
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△95	188
少数株主利益	1	5
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△96	183

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△95	188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△31	△84
その他の包括利益合計	△31	△84
四半期包括利益	△126	104
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△127	98
少数株主に係る四半期包括利益	1	6

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（4）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（5）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	水産物卸売事業	水産物販売事業	不動産等賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	39,660	7,447	10	176	47,295	－	47,295
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2,667	117	45	182	3,012	△3,012	－
計	42,328	7,565	56	358	50,308	△3,012	47,295
セグメント利益又は損失（△）	△102	△178	13	8	△257	△4	△262

（注）１．セグメント利益の調整額△４百万円は、セグメント間取引消去０百万円及び棚卸資産の未実現利益△４百万円であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	水産物卸売事業	水産物販売事業	不動産等賃貸事業	運送事業	計		
売上高							
(1)外部顧客への売上高	37,159	7,547	16	184	44,908	－	44,908
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2,552	137	45	167	2,903	△2,903	－
計	39,711	7,684	62	351	47,811	△2,903	44,908
セグメント利益又は損失（△）	25	△20	12	12	30	△3	27

（注）１．セグメント利益の調整額△３百万円は、棚卸資産の未実現利益△３百万円であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

３．報告セグメントの変更等に関する事項
（減価償却方法の変更）
当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。
この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第３四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響額は軽微であります。